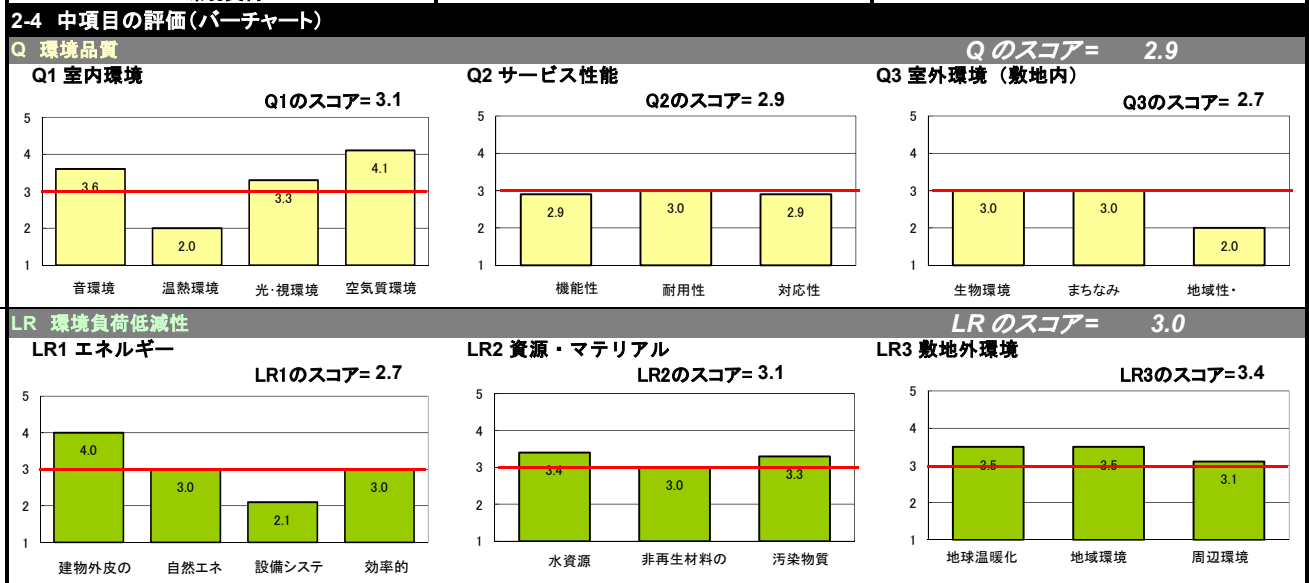
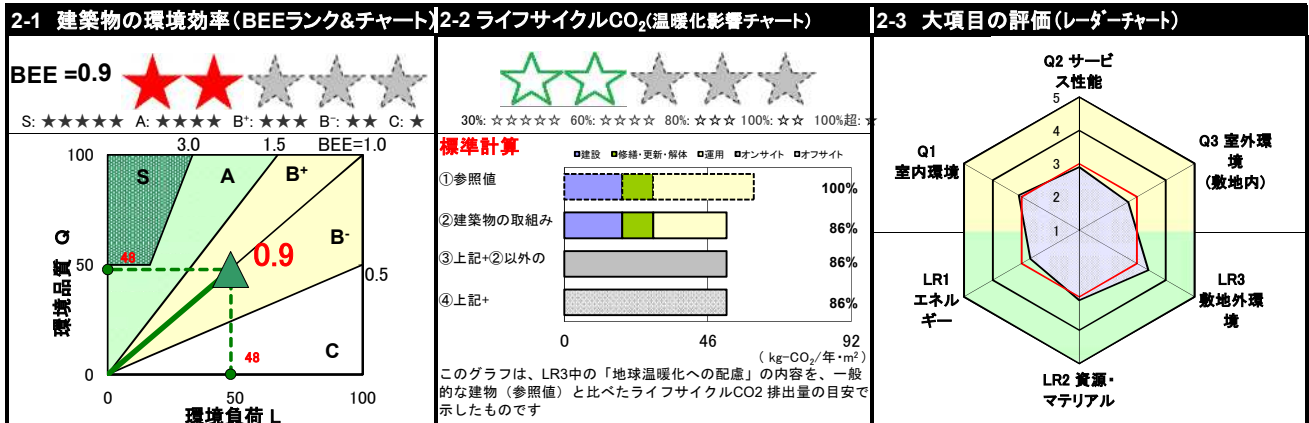


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 明治 (仮称)神奈川新工場建設工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県厚木市酒井字新宿1011番2 (ほか138 筆 (仮換地 1街区1-1 画地 (ほか55画地))	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	160 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2024年10月31日
敷地面積	100,000 m ²	作成者	株式会社日建設計
建築面積	16,300 m ²	確認日	2024年10月31日
延床面積	27,210 m ²	確認者	株式会社日建設計



3 設計上の配慮事項		
総合	・高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	その他
Q1 室内環境	・ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、全館禁煙として室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	・エネルギーの運用管理体制を構築することで、省エネに配慮する計画としている。	Q3 室外環境(敷地内)
LR2 資源・マテリアル	・O Aフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される